

重点的な取組、共通的な取組

| 平成30年度調達改善計画 | | | | | | | | 平成30年度年度末自己評価結果(対象期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日) | | | | | | | | | |
|--------------|--------|---|--|---|-----|---------|-------------|--|-----|---------|--|-----|--|-----|---|---|------------------|
| 重点的な取組 | 共通的な取組 | 取組の項目 | 具体的な取組内容 | 重点的な取組の選定理由 | 難易度 | 取組の開始年度 | 取組の目標 | | 難易度 | 取組の開始年度 | 実施した取組内容 | 進捗度 | 取組の効果(どのようなことをして、どうなったか) | | 実施時期 | 実施において明らかとなった課題等 | 今後の計画に反映する際のポイント |
| | | | | | | | (原則、定量的に記載) | 目標達成予定時期 | | | | | 定量的 | 定性的 | | | |
| ○ | | 競争性確保に向けた情報システム関連調達に係る調達予定案件の公表や仕様の見直し等の検討の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 複数の事業者が入札に参加するための検討期間を確保する観点から、当庁の中長期的な調達予定案件(スケジュール)の公表を実施 仕様について、CIO補佐官等の知見や、複数の事業者へのヒアリング結果を活用し、より競争性を高める見直しを検討 | <ul style="list-style-type: none"> 一者応募案件については、価格交渉による調達コスト削減に取り組んでいるが、平成29年度上半期自己評価を踏まえ、仕様の見直しの検討等により、競争性の確保を図る必要があると考えるため。 | A+ | H30 | - | - | A+ | H30 | <ul style="list-style-type: none"> 中長期的な調達予定案件として、昨年6月に2018年7月から2023年3月まで(5か年)の計画を公表した。 「機器等の保守契約」について、今後も継続して発注することが見込まれることから、仕様の見直しに関する新たな観点からの指摘を得ることを通じて競争性の更なる向上を図るため、既に参加している事業者以外の事業者に対して当該契約に係る業務内容を説明し、対応可能な事業者の開拓を行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 公表した計画には、月次単位での次期システム更新時期の予定を明記しており、翌年度の案件についても、調達時期を想定した入札参加検討を行うことが可能と考える。 既存事業者以外の事業者が、参加案件を具体的に検討する機会の提供につながったと考える。 | 通年 | <ul style="list-style-type: none"> 参加の可能性が確認された事業者から、仕様に係る具体的な意見を聴取し、仕様の見直しにつなげていくことは、競争性の更なる確保に有効であることが判明したことから、引き続き実施していくことが重要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業者からの具体的な意見を踏まえ、仕様の見直しを実施する(令和元年度計画に反映済)。 | |
| ○ | | 同一事業者による一者応札が複数年度にわたる案件について、公募への移行と価格交渉を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な改善策を講じたにもかかわらず、複数年度にわたり同一事業者による一者応札が継続している案件については、特定の一者以外には契約の履行が困難であると考えられる場合、契約金額の適正性を検証することを前提に、公募への移行を実施 公募に移行した場合には、価格の参考見積の規模等の精査を通じて、調達案件に適切な仕様及び調達予定金額となるよう価格交渉を実施 | | A | H28 | - | - | A | H28 | <ul style="list-style-type: none"> 28年度以降、複数年度にわたり同一事業者による一者応札が継続し、特定の一者以外には契約の履行が困難であると考えられた14件において公募を実施しているところ、30年度に該当した1案件を加えた15件について公募を実施した。 併せて、上記のうち、入札に移行した案件を除く13件について、価格交渉を実施した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 公募を実施した15件のうち2件は複数業者の応募があり入札に移行した(13%)。 | 通年 | <ul style="list-style-type: none"> 一者応募が継続している公募案件について、参加する事業者を増やすための取組が必要である。 価格交渉を実施した13件については、いずれも減額には至らなかった。改善につなげるため、価格交渉の過程で得られた知見を集約する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 一者応募が継続している案件について、3者に声かけを行って見積書が1者しか取得できない場合には、競争性を高める観点から、追加で他の事業者にも声かけを行うとともに、見積書の提出がでない事業者に対する理由の聴取を試みる(令和元年度計画に反映済)。 価格交渉の過程で得られた知見を集約し、他の契約案件の調達改善にも活用できるよう、契約担当者へのフィードバックを行う(令和元年度計画に反映済)。 | |
| ○ | | 共同調達における契約額の適正性の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 共同調達を実施する事務用消耗品等の契約価格について、インターネットを活用し市場価格との比較・分析を実施 | | A | H30 | - | - | A | H30 | <ul style="list-style-type: none"> PPC用紙の調達に係る契約額を市場価格の8割程度の金額で契約しており、当庁分で約180万円の調達コストを削減できたと考えられる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> PPC用紙の調達に係る契約額を市場価格の8割程度の金額で契約しており、当庁分で約180万円の調達コストを削減できたと考えられる。 | 随時 | <ul style="list-style-type: none"> 継続的な取組が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き実施する。 | |

その他の取組

| 平成30年度調達改善計画 | | 平成30年度年度末自己評価結果(対象期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日) | | |
|--|----------------|--|------------------------------|-----|
| 具体的な取組内容 | 新規 継続 区分 | 特に効果があった と判断した取組 | 取組の効果 (どのようなことをして、どうなったか) | |
| | | | 定量的 | 定性的 |
| ・見積書の取得について、現状2者以上としているところ、3者以上取得するよう変更し、競争性を高める取り組みを実施 | 新規 | - | | |
| ・情報システムを調達する際に作成する仕様書について、情報システムの目的・用途と仕様の内容が合ったものになっているか等の観点から、外部有識者(CIO補佐官等)による審査を実施 ・情報システムの調達後において、業務の繁閑等の運用状況を踏まえたコスト削減など、必要に応じて改善を実施し、次回調達にも反映(外部有識者(CIO補佐官等)も必要に応じて審査。) ・システム監査計画(内部監査)に基づきシステムが有効に機能しているかどうかを検証すると共に、併せてシステム投資の妥当性・有効性についても検証し、指摘事項について改善をフォローアップ。 | 継続 | - | | |
| ・庁舎エントランスに調達情報/オープンカウンターコーナーを設置し、当コーナーにて見積依頼書を公開配布 | 継続 | - | | |
| ・今年度においても、前年度と同様に継続して共同調達を実施 ・汎用的な物品・役務の発注について、発注単位の集約を検討する等、更なる共同調達の実施に向けた方策を検討 | 継続 | - | | |
| ・コーポレートカード方式での海外出張経費の精算やETCカードでの高速料金の支払いに際して、クレジットカード決済を実施 | 継続 | - | | |
| ・入札情報等の調達情報をメールマガジンにて配信 | 継続 | - | | |
| ・情報システムの調達に関する当庁の取組と関連知識を習得させるために、情報システム担当者等研修を実施 | 継続 | - | | |

外部有識者からの意見聴取の実施状況
(対象期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日)

外部有識者の氏名・役職【赤松 幸夫・弁護士】 意見聴取日【6月19日】

| 意見聴取事項 | 意見等 | 意見等への対応 |
|--|---|--|
| ○ 調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。 | ○重点的な取組について、一者応募の改善にそれなりの成果が認められるが、今後とも一層の努力をお願いしたい。 ○共通的な取組について、公募における価格交渉には困難が伴うと思われるが、今後とも努力の継続が必要と料する。 | ○ご意見も踏まえ、引き続き一者応募の改善や価格交渉の実施等に努めることにより、調達改善を進めていく。 |

外部有識者の氏名・役職【石島 隆・法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授】 意見聴取日【6月17日】

| 意見聴取事項 | 意見等 | 意見等への対応 |
|--|---|--|
| ○ 調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。 | ○情報システム関連調達については、将来の調達予定案件を見据えてシステムの構成要素の分割方法と全体構造を事前に検討した上で進めていくことが重要である。 ○一者応募の情報システム関連調達については、仕様を分割して調達することにより競争性の確保を図ることにつながったことから、引き続き調達の統合・分割を検討しつつ、調達改善に向けて取り組んでいただきたい。 | ○情報システム関連調達については、ご意見も踏まえ、将来を見据えて計画的に実施するとともに、調達単位の見直しを行うこと等により、引き続き調達改善に向けて取り組む。 |

外部有識者の氏名・役職【大村 廣・公認会計士】 意見聴取日【6月17日】

| 意見聴取事項 | 意見等 | 意見等への対応 |
|--|---|--|
| ○ 調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。 | ○一者応募が継続している案件については引き続き調達改善の取り組みを進めていただきたい。 ○価格交渉については交渉の過程で得られた知見については今後の交渉に役立てていただきたい。 | ○一者応募が継続している案件について、声かけや理由の調査を行うなどの取組を進めるほか、価格交渉における知見の集約を行うことにより、調達改善を進めていく。 |

外部有識者の氏名・役職【堀江 正之・日本大学商学部教授】 意見聴取日【6月17日】

| 意見聴取事項 | 意見等 | 意見等への対応 |
|--|--|---|
| ○ 調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。 | ○かねてより課題となっていた一者応札について、状況に応じたさまざまな対応・工夫を重ねてきており評価できる。 ○適切な競争性の確保は、コスト削減のみならず、品質の維持・向上という観点からも重要であることから、引き続きそのような観点も踏まえた対応をお願いしたい。 | ○競争性の確保の取組は、品質の維持・向上の観点も十分に踏まえつつ実施していく。 |

外部有識者の氏名・役職【吉野 直行・慶応義塾大学名誉教授】 意見聴取日【6月21日】

| 意見聴取事項 | 意見等 | 意見等への対応 |
|--|--|---|
| ○ 調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。 | ○平成30年度調達改善計画の年度末自己評価について、その内容に異存なし。 ○引き続き、調達改善に向けて取り組んでいただきたい。 | ○ご了解をいただいた調達改善計画に基づき、引き続き調達改善の取組を進めていく。 |